

自然と共生する海岸の創造

生物や景観に配慮した自然にやさしい海岸の整備

海岸に生息する生物、あるいはウミガメ等海岸で産卵等を行う生物に配慮するとともに、沿岸部における生態系の保全が図られるよう、自然にやさしい砂浜・干潟の保全・創出を積極的に推進します。また海藻等の生育が期待される人工リーフ等の沖合施設の設置を積極的に行います。



ウミガメの産卵
(高知県室戸市 元海岸)

緑豊かな海岸の整備

海岸の緑は、いわゆる「白砂青松」といわれる美しい景観を形成するばかりでなく、背後の人家や農地等を飛砂・飛沫による被害から守るとともに、海に生息する生物に栄養分を供給する等様々な機能があります。このため、防潮林の整備や植栽等により、緑豊かな海岸を積極的に創造します。



▲日本を代表する白砂青松：美保の松原（静岡県清水市）